

事業名	平成 24 年度能登ワールドチャレンジ・プロジェクト	
活動形態	開催場所	輪島市、珠洲市、穴水町、能登町
	活動人数	—
	期間	平成 24 年 9 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日
活動概要	<p>1. 人材養成プログラム</p> <p>能登里山マイスター養成プログラムの成果を活かし、能登の活性化に向けて、世界農業遺産に認定された能登に精通した次世代リーダーの養成に取り組んだ。</p> <p><拠点の形成></p> <p>珠洲市の能登学舎を中心に、輪島市の旧・南志見中学、能登町の金沢大学臨海実験施設などにサテライト校を構えた。</p> <p><講義の構成></p> <p>博士研究員など 5 名のスタッフにより、担任制で指導を実施。1 年のカリキュラムを組み立て、月 2 回（土曜日）に実・演習を実施。</p> <p><開講と受講生></p> <p>平成 24 年 10 月 6 日に開講、同月 20 日に開講セレモニーを実施。1 期生として 42 名の社会人が登録。</p> <p>2. 地域課題解決プログラム</p> <p>能登の魅力にさらに磨きをかけるため、各地の地域課題解決に向けた実践的な取組を推進するとともに、世界に向けた情報発信に取り組む。</p> <p>[輪島市] 農業関係資源の 6 次産業高付加価値化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「輪島里山里海塾」（月 2 回、7 月 6 日開講）、塾生 26 名。1 月 17、18 日先進地視察（福井）。 <p>[珠洲市] 過疎地域における新たな移動システムについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12 月 15 日「過疎地公共交通の未来をつくるシンポジウム」を実施。 <p>[穴水町] 地域に応じた公共交通の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2 月 18 日、3 月 4 日の 2 回、地域公共交通セミナーを金沢大学、穴水町で開催。 <p>[能登町] 地域循環型社会の実現にも繋がるバイオマスエコツアーの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8 月 6 日「ふるさと未来塾」開講、塾生 16 名。3 月 4、5 日に先進地視察（栃木）。 <p>3. 世界的評価向上事業</p> <p><国内外の研究者によるワークショップの開催></p> <p>1 月 15 日に能登学舎において、フィリピン大学教授ら 3 名を招き GIAHS ワークショップを開催。</p>	

<英語で情報発信を行うことができる人材育成>

世界農業遺産の認定など、能登の世界における評価の高まりに応え、海外からの訪問者等に英語で情報発信を行うことができる人材の育成を目指す語学講座を開講。

11月及び12月に「能登イングリッシュ・エキスパート in のとカフェ」を4回実施し、延べ45名の学生が参加。

<国内外の著名人による講演会の開催及びインターネット配信>

国内外の著名人による講演会を能登地域で開催することで、外からの視点に触れ、能登が有する潜在的な価値や魅力について気付く機会を設定。また、講演会の様子を収録し、事後にインターネットで配信することにより、能登の認知度とブランド力の向上につなげる。

2月19、20日パルビス GIAHS 事務局長を招き対話集会（珠洲）。動画を配信。

<国際会議などの機会を利用した能登の魅力発信>

国際会議において、能登の地元産品を利用し、能登の魅力を紹介することで、能登に対する国際社会の関心を高め、能登の国際的評価のさらなる向上を図る。

10月、生物多様性条約第11回締約国会議（インド）で能登のPRを実施。